

説明会記録

下伊那南部建設事務所

件名	『信州のいい川づくりモデル事業』に伴う遠山中学校横工区 工事説明会	第 1 回
		※参考 第1回「遠山郷いい川づくり」推進会議 H25年10月24日
年月日	平成25年11月21日(木) 18:30~19:30	
場所	南信濃学習交流センター 会議室	
出席者	「遠山郷いい川づくり」推進会議：委員：12名(欠席者9名) アドバイザー：3名(欠席者2名) 事務局：下伊那南部建設事務所 小林整備課長、村松整備第一係長、 関主任、青森技師、高橋技師 池端工業(株)：遠山 政廣(現場代理人)	
地域住民	出席者13名	
配付資料	別紙添付資料	
説明会の主旨	『信州のいい川づくりモデル事業』に伴い、遠山中学校横工区の工事施工業者が決まり、工事着手することとなったため、工事の施工計画や工程に関することを主とした工事説明会を開催した。(「遠山郷いい川づくり」推進会議の委員及びオブザーバーは工事実施までの経緯を知っているが、地元住民には初めて説明するため、次第の2及び3についても説明を行った。)	
説明会内容	<ol style="list-style-type: none"> あいさつ〈小林課長〉 ・具体的な工事の進め方が決まったため説明会を開催した。委員の皆様はすでに知っている内容もあるが、地元の皆様には「いい川づくり」について初めて話をするということで、工事をするだけでなく、「いい川づくり」について理解を深めていただきたいため、これまでの経緯についても説明する。 遠山郷いい川づくりについて〈村松係長〉 ・『信州のいい川づくりモデル事業』として工事に至るまでの経緯について説明。 (別紙PP資料) 多自然川づくりの設計及び工法について〈高橋技師〉 ・説明会後に工事着手する遠山中学校横の河床低下対策の設計と対策工法について説明。 (別紙PP資料) 施工計画、工程について〈遠山政廣〉 ・工事の具体的な施工計画、工程及び施工手順について説明。 (別紙配布資料・PP資料) 質疑・要望 	
決定事項 検討事項 保留事項等	<p>〈Q 吉村氏〉 今年の台風18号の出水で頭首工のカーテンブロックが1m~1m50cmくらい低下した。次の台風26号も台風18号なみの大雨であれば頭首工付近の護岸が危険であったと思う。また、毎年水が出る度に堤防が壊れるのではないかと心配であった。そうした矢先に予算をつけて対策していただき大変ありがたい。</p> <p>以前、頭首工の仮設工事のために下流を掘削して急激な河床低下が起こった。河床低下をとめるには、和田保育園付近にあるような帯工が効果的なため、今回の設計はよく</p>	

検討されていると思う。

頭首工の左岸側は根入れが浅い。また、木が生えているため、堤防そのものが老化している。施工から50年近く経過しているため、よろしく願いたい。

また、現状ではほとんど魚はいないが、今回の工法は少しでも魚が見えたり、自然の川に近づく工法だと思うため、よろしく願いたい。

〈A 村松係長〉 河床低下対策は帯工でないのとまらないと考えているが、30年前や50年前の河床に戻すのは実際には難しく、今ある現状をさらに悪化させないために最適な帯工の位置はどこなのか専門家の意見を伺いながら進めている。

また、コンクリート構造物だと細かい石が流れてきて削られてしまうため、現地産の硬い石を使って帯工をしっかり造った方がいいのではないかと考えている。他の地域でもなかなか事例がないが、環境にも配慮してできるのではないかと考えている。現地等を見て何かわからないことがあれば質問していただければと思う。これから数年間工事に入るが引き続きご協力をお願いしたい。

〈Q 山崎氏〉 私は今回県で工事をする箇所と接点になっている和田水路組合の組合長である山崎幸人です。当箇所は和田水路組合と接点となっているため、事前に県より工事の説明を受けた。

11月24日に和田水路組合で管理している水路の周りについて和田水路組合員で草刈りを行う。河川環境整備ということで、和田水路組合の草刈りに合わせて堤防上の雑木の伐採を県へ依頼したところ、対応していただいた。

工事には協力していく。

【以下要望事項】(別紙山崎氏配布資料参照)

- ① 柳の木で左岸の洗掘が防げていた。今回の工事では切らないということであるため、根が枯れない方法で施工していただきたい。
- ② 帯工ができると淵ができて魚が生息できる。柳の木の downstream で水路組合の水路から余水を流しているため、余水を利用した魚つかみ大会や魚釣り大会等ができないか魚協にお願いしていきたい。
- ③ 消防団詰所の裏に、防災上、消防車が入って水をあげたり、修繕等工事のための公道を作る必要があると考えている。道路について皆様と考えたいが、地域の人が募金をしてお金を集めて、民地の所有者から買って市に寄付したいと考えている。

〈A 村松係長〉 私達のやれる範囲のこともあるが、特に地域の中でお考えいただくという部分もあるようなので、是非今後お考えいただきたいと思う。

〈Q 牛山氏〉 石材運搬について、児童の登下校時間を外していただいたり、車両の識別表をつけていただいたり等、ご配慮いただきありがたい。運行時間内でも学校の前の道を児童が歩くことがあるため、気をつけていただきたい。

〈A 村松係長〉 今回の工事に限らず、県では和田BP、小嵐BP、小道木BP等の事業をしており、安全運行の取り組みを国土交通省とも一緒になって進めている。

今後も今いただいた意見を含めて、安全運行の取り組みを進めて行きたいため、引き続きご協力をお願いしたい。

〈村松係長〉 これから実際に工事が始まるが、現場には現場代理人がおり、県にも現場の監督員がいる。配布資料に電話番号と名前を記載したため、何かご不明な点があればなんなりとお問い合わせ願いたい。